



韓国マジェスティゴルフ、ゴルフ用品メーカーのマジェスティゴルフ（旧マルマン）＜7834＞をTOBで子会社化



韓国のMAJESTY GOLF KOREA Co., Ltd.（マジェスティゴルフコリア、ソウル）は9日、ジャスダック上場でゴルフ用品メーカーのマジェスティゴルフ（旧マルマン）の完全子会社化を目的にTOB（株式公開買い付け）を実施すると発表した。コリア社は現在、マジェスティゴルフ株式の37.68%を所有する筆頭株主。マジェスティゴルフの金在昱社長、金錫根取締役の両氏がコリア社の代表理事（代表取締役）を兼務していることから、今回のTOBはMBO（経営陣による買収）に該当する。

買付価格1株195円で、TOB公表前日の終値136円に43.38%のプレミアムを加えた。買付予定数は107万3千5576株。買付代金は最大20億9343万円。買付予定数の下限は総議決権の3分の2に相当する499万3000株に設定。買付期間は8月13日～9月25日。決済の開始日は9月30日。三田証券が代理人。

TOBを実施するコリア社は韓国投資会社モーツァルトアドバイザーズコリア（ソウル）の傘下企業。モーツァルトはマジェスティゴルフの株式13.32%を直接所有し、コリア社を通じた間接所有分を合わせてマジェスティゴルフ株式の51%を持つ親会社の地位にある。

マジェスティゴルフは1950年に創業したマルマンを前身とする。ゴルフクラブ、キャディーバッグなどのゴルフ用品を主力に、禁煙関連商品（禁煙パイポなど）、健康食品（各種サプリメント）を製造・販売している。2005年にジャスダックに上場。2018年10月にマルマンから現社名に変更した。コリア社は韓国の代理店としてゴルフ用品を独占的に販売している。